



新たな旅立ち 秩父別中学校卒業式 3/14

- 平成30年度行政執行方針
- 平成30年度教育行政執行方針
- 後期高齢者医療制度のお知らせ
- 介護保険料・介護保険制度が変わります



平成30年度



行政執行方針

小さくてもキラリと輝く

存在感あるまちづくり

平成30年3月8日に開かれた第1回町議会定例会で、神薮町長が述べた平成30年度の行政執行方針から、まちの取り組み方針と主要な施策についてお知らせします。

平成30年第1回町議会定例会が開催され、本年度の各会計予算のご審議をいただくにあたり、町政運営の基本的な考え方及びその方針についてご説明申し上げます、議員各位並びに町民の皆さんのご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年の基幹作物の水稲は、6月の低温と日照不足により生育の遅れを心配し

ておりましたが、その後の天候回復と農家の皆さんの高度な栽培技術によりまして、品質、収量ともに良好で作況指数103と7年連続で豊穣の出来秋となり、苦労の汗が報われた一年でありました。

本年度からは、昭和45年から約半世紀続いてきた国主導の生産調整が、米の直接支払交付金とともに廃

止になります。

農家の皆さんには大きな転換点を迎えることとなりますが、政府には生産者の不安を払拭し意欲ある農家の努力が報われる、万全な対策を講じるよう強く望むところであります。

国は、経済の好循環をより確かなものとし、持続的な経済成長を実現するために「人づくり革命」

と「生産性革命」を両輪とし、少子高齢化という最大の長期的な課題に立ち向かうため、平成30年度一般会計の総額を過去最大の97兆7128億円とする予算案が編成されたところであります。

一方、地方財政対策では、企業業績の回復により地方税収の増加が見込まれるため、地方交付税は2・0%



の減、赤字地方債である臨時財政対策債も1・5%の減となりましたが、一般財源総額は前年度並みの予算が確保されたところであります。

自主財源に乏しく、約50%を地方交付税に依存する本町にとりましては、厳しい財政状況となることから、将来を見据えた適切な財政運営に努めていかなければならないと考えております。

さて、本年は私を含め議員各位にとりましても、任期最後の年であり、いわゆる仕上げの年であります。

本町が未永く自立し発展していくためには、財政の健全化と併せて人口の確保が最重要であるとの認識のもと、議員各位の深いご理解とご支援をいただいで、社会資本の整備をはじめ、子育て支援対策や高齢者福祉施策、移住・定住の促進など、様々な事業を実施することができました。これらの取り組みの成果

として、急速に進展する少子高齢化の中にあっても、秩父別町の発展と町民の皆さんの福祉の向上、人口減少の抑止に少なからず寄与できたものと考えております。

特に過去2年間は、本町知名度の向上、地域経済の活性化、並びに人口確保対策として、国内最大級の屋内・屋外遊戯場を整備いたしました。本年度は両施設の万全な管理運営に努めてまいりますとともに、これまで先送りしてきました、温泉源泉の配管整備、空き公営住宅・冒険の森展望塔の解体撤去、法面の補修、町道の舗装修繕など、良質な起債や補助事業の対象に該当しない、町費単独の各種事業を実施してまいります。

健全な行財政運営に配慮しつつ、「小さくてもキラリと輝く存在感あるまちづくり」に全身全霊を傾注してまいります。



各課における主要な施策

総務課所管

▼職員の人材育成

●本年度も職員を各種研修に派遣し、本町が直面する諸課題に積極的に取り組む行動力豊かな人材の育成に努めます。

▼ふるさと納税

●ふるさと納税は、子育て支援事業をはじめ、魅力あるまちづくりを推進するための貴重な財源です。

●本年度も、ふるさと納税サイトへの広告を充実するとともに、札幌駅前通地下歩行空間で開催される「ふるさと納税フェア」に参加し、本町のPRと寄付額の増加に努めます。

▼交通安全対策

●本年10月27日の交通事故死ゼロ3000日の記録達成に向かつて、交通安全協会、警察署など関係機関と連携を密にし、交通安全思想の普及と意識の啓発に努めます。

▼防災

●本年度は、災害発生時などに消防団員を搬送する小型動力ポンプ搭載のマイク口車を更新し、地域防災力の向上に努めます。

企画課所管

▼インバウンド事業

（外国人観光客の誘致）

●本年度は、日本文化を体験できる滞在交流型の観光に重点を置き、タイの旅行関係者1名に就労いただいで、年間を通じて人的ネットワークやSNSを活用した情報発信による外国人観光客の誘致に努めます。

▼町の魅力・観光資源を発信

●小型ドローンを1台購入し、地上のほか上空からの映像による観光PR動画を制作し、台湾をはじめ国内外に積極的に発信していきます。

また、吉本興業の若手芸人による移住体験モニター動画を制作して、本町の魅力や観光資源を全国に向けて幅広くPRしていきます。

▼移住・定住対策

●今後有効活用が見込めない町有地を宅地として分譲販売いたします。さらに、新築住宅建設に必要な費用の一部助成制度を創設し、併せて住宅用地取得補助金を見直しするとともに、民間活力による賃貸住宅の建設に助成します。

●結婚祝金、新婚世帯・子育て世帯の家賃助成及び引越し助成制度並びに転入就業者向けの家賃助成制度を継続します。

▼日本一のキュービックコネクション【屋外遊戯場】

●本年7月初旬には、「ちっく」に隣接して、三世代公園「日本一のキュービックコネクション」をオープンいたします。

道内に類似の施設はなく、子ども達は冒険心を満たし、お年寄りには健康づくりの場所として、三世代は勿論、四世代の方々にも安心してご利用をいただくため、安全な施設管理に必要な防犯カメラを設置します。

▼アキグミ茶

●昨年、東京都の株式会社ファントックと、健康飲料の新しい特産品として共同開発した「アキグミ茶」は、原料となるアキグミの収穫を効率化するため、平地における栽培試験を行います。

▼北海道日本ハムファイターズ179市町村応援大使

●ファイターズの渡邊諒選手と鍵谷陽平選手の2名が応援大使を務めていただくことになり、各種交流事業を通じて秩父別町を全国に発信していきます。

住民課所管

▼子育て支援

●新規事業として、妊娠、出産、子育て期と切れ目のない支援をするため、保健師、助産師による相談や訪問等により、中心的な役割を担う「子育て包括支援センター」を開設します。

▼健康対策

●健康寿命の延伸を目指し、病気の早期発見、重症化防止のため各種検診受診の勧奨、人間ドック等に係る費用の助成に加え、保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士などによる、きめ細かな保健指導を積極的に実施し、町民の健

康維持を包括的に支援していきます。

▼高齢者福祉の向上

●高齢者のタクシー助成券は、昨年12月から利用可能なタクシー会社が2社となったため、利便性が向上し、利用実績が増加していることから、交付枚数を48枚から60枚に拡大します。

●老人福祉センターの教養娯楽室の畳を表替えるとともに、バンパープール2台を更新し、さらに交流活動の輪が広がるよう施設の整備に努めます。

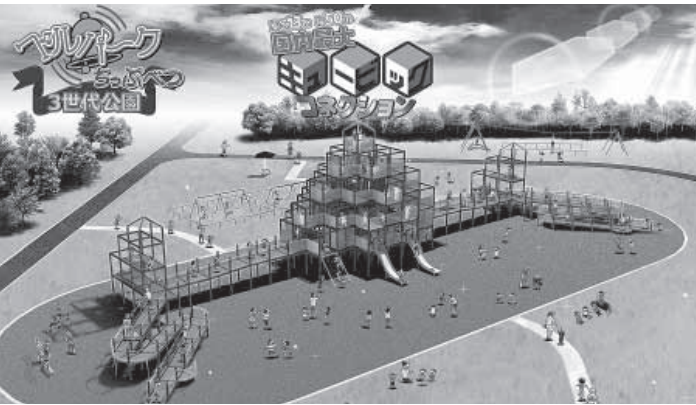
●ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加に加え、介護を必要とする方々が地域で生活していることから、昼食・夕食の宅配食事サービス事業を民間に委託し、費用の半額程度を助成します。

▼訪問介護事業所

●本年度から社会福祉協議会が実施する訪問介護事業所について、介護福祉士1名を町職員として新規採用し、社会福祉協議会に派遣することで事業運営の安定化を図ります。

▼社会福祉の向上

●社会福祉法人秩父別昭啓会が運営する特別養護老人ホーム「和敬園」の施設改修費、NPO法人「みらいのそら」が運営する障がい者グループ



ホーム2号棟の新規建設費に
対し、昨年引き続き費用の
一部を助成します。

▼国民健康保険

●本年度から、北海道が財政
運営の責任主体となる新たな
制度になりますが、移行によ
る保険料率も含め、それらの
影響等をしっかりと検証し対
応していきます。

▼介護保険

●本年度から始まる第7期介
護保険事業計画に基づき、「心
かよいあう高齢者福祉のまち
づくり」の基本理念のもと、
高齢者が住み慣れた地域で安
心して生活できるよう支援し
ていきます。

産業課
農業委員会所管

▼農業の振興

●本年度も、農業法人の設立
支援、新規就農及び6次産業
化の推進に向けた研修会を実
施します。

●園芸作物用のハウス施設が、
導入から約20年経過し老朽化
が著しいことから、北いぶき
農協とともに更新及び新規導
入に係る経費の一部を助成い
たします。

●次代を担う農業青年が、先
進的な技術の研鑽と見聞を広

めるため、国内外における研
修への参加に対し、費用の一
部を助成します。

●第7回目の「秩父別産新米
普及マラソン大会」を10月7
日に開催し、引き続き、秩父
別町産米の普及拡大と、バラ
園の一層の知名度アップに努
めます。

▼農業委員会

●本年度も、担い手への農地
集積を最優先とし、関係機関
と連携を図りながら、慎重な
対応に努めます。

●農業者の高齢化による離農
が進む中、売買、賃貸借のあつ
せん業務は、毎年増加傾向に
ありますが、更なる中立性を
保った農業委員会として適正
に業務を遂行します。

▼商工の振興

●店舗等の改築を支援する商
業振興店舗等建設促進補助事
業を引き続き継続します。

●スタンプ会が実施するポイ
ント5倍セールなどの事業
は、町民の皆さんに大変好評
をいただいていることから、
事業に係る経費と、老朽化し
たポイントカード機器の更新
費用を助成いたします。

●商工会が主催する、「あきな
いまつり」や「ちっぷフェス
ティバル」など、町の活性化
に向けた各種イベントに、引
き続き応分の助成をします。



▼観光の振興

●バラ園は、指定管理者の適
正な管理に加え、ローズガー
デン協同組合により、観光客
にお土産や食事を提供して頂
いておりませんが、入園者は減
少傾向にあります。

●本年度は「ベルパークちっ
ぷべつ」等と有機的な連携を
図るとともに、関係機関と協
力してPR活動を実施し観光
客誘致に取り組みます。

●訪日外国人の来町を促すた
め、町ホームページに掲載し
ている外国語表記の観光案
内と連携するQRコードを活
用した簡易な観光PRカード
を作成し、近郊の観光施設や
空港周辺のレンタカー会社等
に配付することで集客に努め
ます。

▼とんでんまつり
●本年度の「とんでんまつり」
は、屋外遊戯場完成記念イベ
ントとして、8月4日に開催
します。「日本一のキュービッ
クコネクション」を利用した
ゲームのほか、ステージショー
とビールパーティー、キャラ
クターショー、働く車の展示
などを予定しています。

建設課所管

▼道路整備・道路除排雪・橋梁工事

●町道整備として、1条路線
舗装修繕工事、2条路線及び
マラソンコースでもある「南
山南」路線の法面復旧工事を
実施します。

●橋梁の長寿命化修繕計画に
基づき2橋の設計と2橋の修
繕工事を実施します。

●道路除排雪について、現行
の体制を維持し、冬期間も快
適に生活できるよう、日本一
の除排雪を目指し、きめ細か
な道路管理に努めます。

▼河川管理

●4条集水路（旧秩父別川）
の柵渠補修を実施するととも
に、妹背牛町が管理する8丁
目排水機場の管理運営及び機
器補修等に必要経費につい
て、応分の負担をします。

▼公営住宅の管理

●本年度は、中央西A団地3
棟12戸の屋根張り替え、壁の
塗装等の長寿命化改修を行う
とともに、老朽化した町営住
宅・町有住宅合わせて5棟12
戸を解体撤去いたします。

●若い世代の経済的負担を軽
減し定住人口の増加を図るた
め、新婚世帯・子育て世帯等
が新たに町営住宅に入居する
場合に、給湯器、暖房機等の
設備を設置します。

▼水道事業

●町有住宅解体に伴う水道管
敷設替え工事、老朽化した水
道料金システムの更新を実施
します。

●本年度は経営戦略を策定し、
将来にわたって安定的な給水
が確保できるよう中長期的な
視野に立ち、経営の安定化と
重要度・優先度を踏まえた更
新需要の見直しについて検討
を進めます。

▼下水道事業

●本年度は、浄化センター、
コンポスト施設及び中継ポン
プ場の機器更新と修繕を実施
します。

●計画的な維持修繕を図るた
め、昨年度策定した最適整備
構想に基づき、具体的な修繕
工法を検討するための調査診
断を実施します。

平成30年度

教育行政

執行方針



平成30年3月8日に開かれた第1回町議会定例会で、西田教育長が述べた平成30年度の教育行政執行方針をお知らせします。

平成30年度予算のご審議をいただくにあたり、教育行政の方針と主な施策について申し上げ、議員各位並びに町民の皆さんのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

近年、グローバル化の進展や情報通信の急速な進化、さらにAIをはじめとする急速な技術革新など、時代のすう勢は、社会のあらゆる領域に様々な変化をもたらしており、私たちのライフスタイルや社会への価値観の多様性にも大きく影響を与えております。

そのため、学校教育におきましては、心身ともに健全やかな成長と社会の変化に順応し対応できる「生きる力」を育み、社会教育では、多種多様化する町民の皆さんのニーズに応える、学習機会の提供に努めてまいります。

学校教育の推進



少子高齢化による生産年齢人口の減少、急速に進展

するグローバル化と技術革新により、社会構造や雇用環境は大きく変化しており、複雑で予想困難な厳しい時代を迎える中で、子ども達は社会的・職業的に自立した人間として社会の変化に主体的に向き合い、また、他者とも積極的に関わりながら生きていく、豊かな人間性や社会性を育むことが重要であります。

そのために、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、それらを応用し活用す

るために必要な「思考力、判断力、表現力など」の育成に努め、さらに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたアクティブ・ラーニングの視点に立った授業の改善を推進してまいります。

また、学校は「子どもの夢と希望を育み実現する、明るく未来へ導く場所」であることを念頭に、小規模校の特性を活かした秩父別教育スタンダードの構築に努めてまいります。

なお、中学校は本年度、普通学級の新入生徒が見込めないことから、道費負担教職員定数の基準により教員定数が3名減となりますが、現在、本校に在職中の教諭1名を町単独負担での教職員として採用・配置し、教育環境の充実と指導体制の強化を図ってまいります。

学校教育の主な施策

■ 築41年目を迎える中学校校舎は、経年劣化が著しいため、校舎の耐力度調

査を実施し、国の補助事業を活用した改修の準備を進めます。

■ 本年度から、児童生徒の学習意欲と学力の向上を図るため、漢字や英語、数学の検定受検に対し、検定料を助成します。

■ 経済的に困窮している家庭に対し入学準備金を3月に前倒し支給し、子育て環境の整備に努めます。

■ 本年度も中学生の修学旅行にかかる経費の一部を助成し、保護者の負担軽減に努めます。

■ 中学校の英語教諭による小学校への乗り入れ授業の継続を実施し、併せて、外国語指導助手の更なる活用を図ります。

■ 学習支援員は、授業の習熟度に応じた個別指導や放課後学習などで、学力向上に寄与していることから、本年度も小中学校に配置します。

■ 学校と緊密な連携を図りながら、いじめのない教育環境づくりに努めます。

■子育て支援の一環として給食費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

■児童生徒の安全対策において、防犯パトロールの皆さんや地域の方々に登下校時の安全確保と見守りにご協力をいただいておりますが、防犯パトロール員の皆さんをはじめ、関係機関とより一層連携を密にしていきます。

■児童生徒の安全対策において、防犯パトロールの皆さんや地域の方々に登下校時の安全確保と見守りにご協力をいただいておりますが、防犯パトロール員の皆さんをはじめ、関係機関とより一層連携を密にしていきます。

社会教育の推進



生涯学習につきましたは、町民の皆さんが心豊かに充実した生涯を過ごせるように、今後も引き続き、豊かな創造性や感性を養う学習機会の提供に努めてまいります。

社会教育の主な施策

■幼児・家庭教育について、本年度も「子育てサロン」や「ブックスタート」など、町部局や関係団体と連携した事業を展開していきます。

■青少年教育として、放課後児童の交流の場である「ちつぶつ子ふれあいスクール」は、事業内容の充実を図ります。

■児童の長期休業期間中において、「望ましい生活習慣」の定着と、本町の歴史や文化などへの興味を深め、郷土愛を育む事業を展開します。

■スポーツ少年団や青少年団体に対する活動支援を継続します。

■本年度は姉妹町である綾川町の児童生徒が本町を訪れて交流事業を行い、絆を一層深めます。

■図書館について、蔵書を拡充し情報拠点としての機能を高めるとともに、ボランティア団体との連携により親子で楽しめる

独自のイベントを開催し、図書館利用者の増加に努めます。また、館内の照明機器をLED照明にします。

スポーツ・文化活動の推進

本町には、それぞれの体力や年齢に応じて、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境が整っており、町民の方々に有意義に活用していただいています。

■本年度も体育協会をはじめ、関係団体と連携を密にするとともに、町民の皆さんのスポーツに対する関心と定着化を図り、健康の保持・増進に努めてまいります。

スポーツ・文化活動の主な施策

■文化活動について、様々なグループやサークルが芸術・文化活動に勤しんでおります。本年度においても文化連

盟をはじめ、自主的・主体的な活動団体に対する支援と協力を努めながら、芸術・文化活動を推進していきます。

■「キッズスクエアちつくる」に隣接して7月には「キュービックコクシヨ」がオープン予定であるため、キャンプ場などを含む「ベルパークちつぶべつ」ゾーンの各施設も利用者の増大が見込まれることから「また遊びにきたい」と喜ばれるよう適切な管理に万全を期します。

